

ランジェ公爵夫人 (2007)

NE TOUCHEZ PAS LA HACHE
LA DUCHESSA DI LANGEAIS
DON'T TOUCH THE AXE

メディア 映画
ジャンル ドラマ ロマンس 文芸
製作国 フランス／イタリア
色彩 Color
時間 137分
初公開日 2008/04/05
公開情報 セテラ・インターナショナル

【キャッチコピー】
ふたりの魂が織りなす愛の深淵

将軍は手負いの獅子のように激しく
公爵夫人は薔薇のように気高く――

【解説】
フランスの巨匠ジャック・リヴェット監督が、「美しき諍い女」に続き再び文豪バルザックに挑んだ文芸ロマンス。19世紀初頭のパリ貴族社会を舞台に、気高き公爵夫人が無骨な将軍に恋愛ゲームを仕掛けたばかりに、それぞれに思いもよらぬ運命を辿るさまを格調高く描き出す。主演は「恋ごころ」のジャンヌ・バリバールと「ポーラX」のギョーム・ドパルデュー。
19世紀初頭のパリ。社交界の華、ランジェ公爵夫人は、舞踏会でナポレオン軍の英雄モンリヴォー将軍と出会う。いまや時の人となったモンリヴォー将軍に興味を抱いたランジェ公爵夫人は、彼を自宅に招き冒険譚を語らせる。あっという間にランジェ公爵夫人の魅力に心奪われてしまったモンリヴォー将軍だったが、ランジェ公爵夫人の思わせぶりの振る舞いに翻弄され続けることに。業を煮やしたモンリヴォー将軍は、彼女を誘拐するという強引な手段に打って出る。思いがけずこれがランジェ公爵夫人の心に火をつける。一転して立場は入れ替わり、モンリヴォー将軍を熱烈に求め始めるランジェ公爵夫人だったが…。

【クレジット】		
監督	ジャック・リヴェット	Jacques Rivette
製作	モーリス・タンシャン	Maurice Tinchant
	マルティヌ・マリニャック	Martine Marignac
	ルイジ・ムジーニ	Luigi Musini
	ロベルト・チクット	Roberto Cicutto
	エルマンノ・オルミ	Ermanno Olmi
原作	オノレ・ド・バルザック	Honore de Balzac
脚本	パスカル・ボニゼール	Pascal Bonitzer
	クリスティーヌ・ローラン	Christine Laurent
	ジャック・リヴェット	Jacques Rivette
撮影	ウィリアム・リュプチャンスキー	William Lubtchansky
美術	マニユ・ド・ショヴィニ	Manu de Chauvigny
衣装	マイラ・ラマダン・レヴィ	Maira Ramedhan Levy

『ランジェ公爵夫人』

音楽 ピエール・アリオ

Pierre Allio

出演 ジャンヌ・バリバール

Jeanne Balibar

アントワネット・ド・ランジェ
公爵夫人

ギョーム・ドパルデュー

Guillaume Depardieu

アルマン・モンリヴォー将軍

ビュル・オジエ

Bulle Ogier

ブラモン＝ショーヴリ妃

ミシェル・ピッコリ

Michel Piccoli

ヴィダム・ド・パミエ

マルク・バルベ

Marc Barbe

トマ・デュラン

Thomas Durand

ニコラ・ブショー

Nicolas Bouchaud

バーベット・シュローダー

Barbet Schroeder